戦時独裁狙う解散総選挙 粉砕！

米日の中国侵略戦争阻止！

反戦デモで高市倒せ

労働者の実力行動にこそ 真の社会変革の力がある

１月23日の通常国会冒頭の衆議院解散は、中国侵略戦争への全面突入のための戦時独裁を狙ったクーデター攻撃だ。高市は、戦後的政治支配・国家体制を暴力的に破壊し、「敗戦帝国主義」的あり方から明示に転換して戦争国家として登場し、米国家安全保障戦略（ＮＳＳ）のもとでの中国侵略戦争－世界戦争に労働者人民を引きずり込もうとしている。

解散総選挙の核心は、日本帝国主義（日帝）の中国侵略戦争への全面突入をめぐる、高市＝帝国主義ブルジョアジーと労働者階級人民との非和解的大激突だ。だからこそ、この解散総選挙攻撃に対する労働者階級人民の唯一の回答は、米日の中国侵略戦争を阻止する反戦闘争の大爆発であり、その力で日帝・高市政権を打倒することである。

１･23国会闘争――160人が結集
高市打倒・戦争国会粉砕の怒り

１・31新宿反戦デモ

１月31日（土）14時
新宿駅東口駅前広場
※集会後、15時～
新宿駅１周デモ
〔主催〕改憲･戦争阻止！
大行進東京

前回総選挙からわずか１年余りで、「解散権は首相の専権事項」（「憲法７条」の得手勝手な解釈）の強弁をもって、通常国会の冒頭に解散するという、すべてが異例の、政治的にはデタラメ極まりない手法である。高市は最低ラインの「与党で過半数」さえ維持できれば「全権が委任された」として、安保３文書改定、スパイ防止法などの治安・戦争法案、改憲・大軍拡を押し通そうとしているのだ。絶対に許すことはできない。

改憲・戦争阻止！大行進は、23日の解散表明に対して国会闘争を闘い、高市と戦争国会に対する戦闘宣言をたたきつけた（左写真）。日帝・高市の中国侵略戦争への突進と真っ向対決し、排外主義・国益主義をぶっ飛ばして、米日の中国侵略戦争阻止の巨万の規模の反戦デモを登場させよう。労働者人民の実力行動にこそ、真の社会変革の力がある。戦争と生活破壊の元凶である帝国主義を打倒しよう。１・31新宿反戦デモに大結集しよう。

改憲･戦争阻止！大行進 東京

台東区元浅草2-4-10
五宝堂ビル５階

080-6053-1751（本山）　kaikensoshi_daikoushin@yahoo.co.jp

大行進X

中国侵略戦争ー世界戦争の急加速

高市が今年に入って一気に解散を決断して動き出したのは、アメリカ帝国主義（米帝）・トランプ政権がベネズエラ侵略戦争をもって、ＮＳＳ＝中国侵略戦争ー世界戦争戦略を実際に発動したからだ。

昨年10月横須賀で「政治的に正しいやり方はしない」と公言したトランプは、まさにその実践として、「国際法は関係ない」と言い放ち、資源・領土強奪の意図もむき出しにして、空爆・虐殺の中でマドゥロ大統領を拉致・拘束して政権転覆する恐るべき侵略戦争を強行した。それは何よりも、西半球から中国をたたき出して米帝の勢力圏として完全に支配・制圧し、米帝のどうしようもない没落と危機からの脱却と世界支配国としての存立・延命のために中国の体制を力ずくで転覆するというＮＳＳの発動そのものである。トランプはさらにグリーランド領有＝強奪、イランへの軍事介入・体制転覆の策動を公言し、国際機関から次々と脱退し、27年度国防費を１兆５千億ﾄﾞﾙ（235兆円）へと大幅拡大することも宣言した。

文字通りの帝国主義としての姿をむき出しにし、基軸国自らが戦後世界体制の破壊者として登場し、米帝の中国侵略戦争ー世界戦争が一気に加速度を上げた。これを前に高市は、日帝の存亡をかけて中国侵略戦争へとさらに全面的に突入していくことを決断し、戦争遂行に必要なものをなりふり構わず貫徹できる強権的国家体制・戦時独裁体制への大転換をかけて解散総選挙に踏み切ったのだ。

戦争放火者＝高市倒す歴史的決戦

高市は19日の会見で「安保関連３文書を前倒しで改定する。旧来の議論の延長ではない抜本的な改定が必要だ」と述べた。戦後的なあらゆる歯止めを最後的に破壊し、大軍拡・改憲、核武装、武器輸出の制限撤廃と軍需産業の全面的強化へと突き進み、公然たる侵略国家として登場するということだ。特に、防衛費を現在のＧＤＰ比２％もはるかに超えて、５％（＝35兆円）へと徹底的に拡大しようとしている。

高市の「台湾有事は存立危機事態」発言＝中国侵略戦争宣言と対決して戦闘的スクラムデモを闘った昨年11･29新宿反戦デモ

中国侵略戦争の主戦場である「第１列島線」においてその「第一次的責任」「主力」（米ＮＳＳ）こそが日帝であり、それを積極的主体的に担う形で「世界戦争の放火者」として登場しているのが高市だ。高市打倒は中国侵略戦争を阻止し、米帝の世界支配と帝国主義全体の命脈を断つ世界史的位置を持っている。

国益主義と対決し帝国主義倒そう

高市の政権基盤は盤石でもなんでもない。高市を規定しているのは経済、政治、社会のすべてが崩壊し、戦争以外に出口がない、支配の絶望的危機だ。労働者人民の怒りは渦巻き、根底的変革を求めて動き出している。高市を支えているのは翼賛国会だ。立憲民主党・公明党の新党「中道改革連合」は、「存立危機事態における自国防衛のための自衛権行使は合憲」と言うに及んだ。原発再稼働も認め、辺野古新基地建設も「ストップするのは現実的ではない」（安住）と容認した。

国会内の全勢力が「国家・国益を守る」という立場で共通している。だがその国家とは、労働者を搾取・収奪し貧困にたたきこみ犠牲にしてぼろ儲けしている一部の帝国主義ブルジョアジー連中による支配のための国家だ。「国家を守れ」とは、帝国主義ブルジョアジーの利益と延命、支配の継続のために、労働者人民は犠牲になり、侵略・虐殺の加担者になれということだ。こんな帝国主義国家は打倒して当然だ。

国会内政党が描く選挙の構造に何の未来もない。これを根幹からぶっ飛ばし、全世界での労働者学生の闘いと共に、中国侵略戦争阻止・帝国主義打倒の巨万の反戦闘争を爆発させよう。１・31新宿反戦デモへ！

●２・11高円寺反戦デモ〔大行進杉並〕
２月11日（水･休）14時　高円寺中央公園

●２・11女性解放学習会〔大行進杉並〕
２月11日（水･休）16時
阿佐ヶ谷地域区民センター 第２･３集会室

●２・15三里塚 東京集会-荻窪デモ
２月15日（日）13時30分
ワイム貸会議室・荻窪　〔大行進東京／杉並〕

●２・22新宿反戦デモ
２月22日（日）13時　新宿駅東口駅前広場
〔改憲・戦争阻止！大行進〕